

令和10（2028）年度入学者選抜における変更について（予告：第2報）

令和10（2028）年度入学者選抜（令和9年度実施）における変更点について、以下のとおり行うことを予定しています。また、今後新たに予告する内容が決まりましたら、順次お知らせします。なお、本内容は、今後変更される場合もありますので、本学Webサイトや令和9年度（2027年度）に公表する令和10年度入学者選抜要項および学生募集要項で必ずご確認ください。

今回お知らせする内容 ※既に公表している「予告（第一報）」も併せてご確認ください。

1. アドミッション・ポリシーおよび各出題ポリシーについて
2. 未来創造選抜（総合型選抜）の面接（プレゼンテーション）について
3. 学校推薦型選抜の出願資格の見直しについて
4. 学校推薦型選抜で出題する「小論文」について

1. アドミッション・ポリシーおよび各出題ポリシーについて

予告している入学者選抜方法は、改訂したアドミッション・ポリシーに基づいて実施します。それに伴い、一般選抜・総合型選抜・学校推薦型選抜にかかる各出題ポリシーの説明文についても更新があります。

上記ポリシーの詳細については、別途お知らせいたします。

2. 未来創造選抜（総合型選抜）の面接（プレゼンテーション）について

<予告（第一報）より一部抜粋>

| | | |
|----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 面接 | プレゼンテーション 対話面接 | プレゼンテーションでは、本選抜の趣旨に合致する、自己推薦の根拠となる具体的な活動実績(下記①)などについて、資料を用いながら説明を行います。(※6) このプレゼンテーションと出願書類に基づき、対話面接を行います。 |
|----|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※6) プレゼンテーションでは、創作・開発・試作の成果物・実機等の持ち込みを認めます。(下記②)

①「本選抜の趣旨に合致する、自己推薦の根拠となる具体的な活動実績」について

本学の考える「活動実績」の例を以下のとおり示します。なお、あくまで例示であり、必ずしもこれらに該当しなければならないというものではありません。

○理数系

- ・探究的な学習の場において主体的に取り組み、優れた学修成果を収めた。
- ・部活動やサークル活動など、課外の活動に意欲的に参加して優れた成績を収めた。
- ・理数系科目や数学検定・統計検定などで優れた成績を収めた。

○外国語

- ・外国語の外部検定試験などで優れた成績を収めた。
- ・高い外国語運用能力を活かした活動実績を有する。

○情報科学

- ・情報処理技術者やITパスポートなどの資格を取得した。
- ・情報技術検定や情報処理検定に合格した。
- ・プログラミングコンテストやハッカソンなどで優れた成績を収めた。
- ・アプリケーション開発やシステム運用などを行った。
- ・この分野の高い水準の知識や技術を有する。

○デザイン

- ・コンテストやコンペなどで優れた成績を収めた。
- ・優れた表現、作品、プロダクト、活動実践などがある。

○社会経験等

- ・NPO、NGO、ボランティア団体などでの社会的な活動実践がある。
- ・システム情報科学の学びに結びつく優れた課外活動実績を有する。
- ・社会人としての実務経験があり、その分野における豊富な知識や高い技術を有する。

②「創作・開発・試作の成果物・実機等の持ち込み」について

第一報の予告後に新たに決まった事項について、以下のとおりお知らせします。

- ・ 成果物・実機等を持ち込む場合、その実演のために面接室内でインターネットに接続することを認めます。持ち込みを希望する場合およびインターネットの接続を希望する場合は、その旨を出願書類に予め記載することを求めます。
- ・ 本学が許可した成果物・実機等以外のものの持ち込み、使用・実演は認められません。
- ・ 試験会場内におけるインターネット接続は、本学が指定する場所と時間に限るものとします。
- ・ プレゼンテーションの時間はこれまでと同様に5分以内とし、成果物・実機等の実演時間もこの時間に含むものとします。

3. 学校推薦型選抜の出願資格の見直しについて

出願資格を以下のとおりとします。(下線部が今回新たに変更した箇所です)

| 区分 | はこだて枠 | 地域枠 (北海道・青森県) | 全国枠 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 募集人員 | 12人 | 40人 | 15人 |
| 出願資格 | 函館市・北斗市・七飯町に所在する高等学校等を令和9年度中に卒業した者および令和10年度中に卒業または卒業見込みの者で、以下の(1)～(4)のいずれにも該当する者 | はこだて枠の対象者を除く、「北海道」または「青森県」内の高等学校もしくは中等教育学校等を令和9年度中に卒業した者および令和10年度中に卒業または卒業見込みの者で、以下の(1)～(4)のいずれにも該当する者 | 高等学校もしくは中等教育学校等を令和9年度中に卒業した者および令和10年度中に卒業または卒業見込みの者で、以下の(1)～(4)のいずれにも該当する者 |
| <p>(1) <u>調査書において、以下のいずれかを満たす者、あるいはそれらと同等の学力を有する者であることが望ましい。</u></p> <p>① 全体の評定平均値が3.7以上</p> <p>② 数学、英語、理科、情報のうちいずれか1教科の評定平均値が3.7以上</p> <p>③ 数学Ⅲを履修していること</p> <p>(2) 多様な人々と協働して主体的かつ継続的に学ぶ意欲のある者</p> <p>(3) 本学で修学するための能力、適性について在学高等学校長が責任をもって推薦できる者</p> <p>(4) 合格した場合には、必ず入学することを確約できる者</p> | | | |

- ・ 上記(1)は、①～③の「いずれか」であり、また、全国の学校間で各教科の実施方法やその評価の考え方も多様であることを踏まえて本学では一律な条件ではなく「望ましい」とします。
- ・ 上記(2)は、学力の3要素に含まれる主体性・協働性をもった人材を求めるため、出願要件に新たに加えるものです。主体性・協働性については、出願書類の中でも確認することとします。

4. 学校推薦型選抜で出題する「小論文」について

第一報のとおり、令和10年度入学者選抜からの学校推薦型選抜では、出願書類、「基礎学力検査（総合問題）」および「小論文」により総合的に評価し選考することとしています。

<予告（第一報）より一部抜粋>

| 試験内容等 | | |
|--------|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 基礎学力検査 | 総合問題 | 理数系の基礎的な能力を評価するため、以下の出題を行います。 1. 基礎的な数学能力を問う問題 2. データに関する基礎的な問題 |
| 小論文 | 小論文 | 言語理解・言語表現の基礎的な能力、および思考力・判断力・表現力を多角的に評価します。 |

そのうち、新たに設ける「小論文」の第一報の予告後に決まった事項について、以下のとおりお知らせします。

- これまでの総合問題Ⅱ「日本語の能力を問う問題」と同様の選択問題と記述問題によって、言語理解・言語表現の基礎的な能力、および思考力・判断力・表現力を多角的に評価します。
- 後日、サンプル問題を公開する予定です。文字数の目安等についてはそちらをご確認ください。